

平成28年4月4日(月)

老球の細道225

「素直で謙虚な性格」が伸びる条件

会津バスケットボール協会 室井 富仁

会津出身の初のプロバスケットボール選手上杉翔(若松二中→坂下高校→拓殖大学)君は現在bjリーグ信州ブレイブウオリアーズに所属しているが、先週の群馬クレインサンダーズとの試合で初のMVPを獲得した。試合は〈信州〉90対64〈群馬〉で快勝。

このゲームを観戦した上杉君の御両親は、試合の結果とご当地の珍しいお土産を持参で私の家に報告に来てくれた。上杉君が拓殖大学時代からご両親は息子のゲームを観戦する度にお土産や大会プログラムを持って我が家に報告に来てくれる。それによって私は彼の活躍を生々しく知ることができる。両親の変わらぬ心配りに頭が下がる。

両親が持参した『信濃毎日新聞』のコラムに上杉君のことが掲載されていた。

【普段は脇役に徹する26歳のフォワード上杉が、勝負どころで主役級の活躍を見せた。「(負けた)借りは返さないといけない」開幕カードで2連敗を喫した群馬に対し、自身今季最多13得点を挙げてチームを3連勝に導いた。

1点を追う第2Q、上杉は開始早々に3点シュートを決めて波に乗った。190センチの上杉に付いた群馬のマークは186センチの菅原。上杉は「(体格差がある) mismatchを生かせる」とゴール下に陣取った。意図を酌んだガード陣がパスを送ると、上杉は菅原を圧倒して連続得点。25-19とし、勢いに乗ったチームは一気に畳み掛けた。

上杉は今季40試合に出場しているが、1試合平均出場時間は約9分。出番が少なく、悔しい気持ちがあるだろうが、主将の斉藤洋は「いつも笑顔でチームのために全力を尽くしてくれる。そういう部分を全員が知っているから、(上杉が)活躍すると波に乗れる」という。

試合の最優秀選手に選ばれた上杉は、インタビューを受ける前に、斉藤洋から『自分の活躍で勝てました』と言え」と“主将命令”を受けた。しかし、発した言葉は「全員のおかげで勝てた。味方に感謝です」。そんな謙虚な姿勢がチームの結束を一段と強くする】

上杉君が真田幸村ゆかりの長野県上田市の体育館において戦っている時、私は喜多方の押切川体育館において耶麻地区の小学生、中学生のクリニックに励んでいた。お昼休みに偶然にも喜多方地区のミニバスコーチから上杉君の高校時代の話が出た。彼の特徴は並外れた素直さだったということを私はコーチたちに話した。人間が伸びるために大切な条件は「素直さ」にあることを強調した。

素直な人間は真綿に水がスーッと吸収されるように、他人からの指導、アドバイスに真剣に耳を傾けあつという間に吸収していく。そして多くの人々が素直な上杉君にアドバイスをしたくなり、応援をする。さらに彼は頑張るという好循環が生まれる。また記事にもあったように彼は謙虚である。大学時代、インカレ(全日本学生選手権)で「敢闘賞」を獲得し、インカレのプログラム表紙を飾る「日本の5人」に選ばれながらも、おごることなく常に謙虚である。

水は高さより低きへと流れる。落差が大きくなればなるほど水の流れの勢いは大きい。人間も同じ。物事に対して謙虚にふるまうことは、それだけたくさんの教えと支援が勢いよく自分のところにめぐってくる。さらに素直が加われば伸びないわけにはいかない。